

長野の林業

令和2年3月10日発行
長野の林業編集委員会

No.362

もくじ



特集	令和元年度長野県林業士認定書授与式を開催	2
	スマート林業普及構築事業報告会が開催されました	3
トピックス	WOODコレクション(モクコレ)東京ビッグサイトで開催	4
	中部森林技術交流発表会を開催	5
お知らせ	緑の募金のお知らせ／山火事予防	6
県森連だより		7
長野県の木材市況		12



里山整備利用地域リーダー育成事業(森林税活用)

地域を担うリーダーを育成するため、今年度は県内各地で20回余り研修等を実施しました。

研修内容は、テーマに合わせて刈払機等の使い方や里山整備の方法、きのこ等の特用林産物の生産から子供の木育に関するものまで多岐にわたります。

来年度も、引き続き様々な研修が実施される見込みですので、是非ご参加ください。



令和元年度 長野県林業士認定証書 授与式を開催しました

令和二年二月十四日に、塩尻市「長野県林業総合センター」において、新たに林業士として認定した十名に、認定証書を授与しました。

林業士は、森林・林業をけん引する地域リーダーであり、二年間で延べ四十六日間の研修を終えたのちに、書類や面接による審査を経て認定します。この林業士制度は、長野県独自のものです、昭和四十八年から五百四十六名が認定を受け、県内各地域で活躍をされています。

認定式では、審査委員長の菅原聡様(信州大学名誉教授)から「同じ長野県でも、森林や森林との関わり方は地域によって大きく異なる。村々固有の自然を見て、文化を見て、地域を見て、新しい多様な林業に向かって取り組んでほしい」、長野県林業士会会長の飯森幸彦様(岡谷市)からは「一人で出来ることは限られているが、多くの林業士の仲間がいる。先輩林業士とも手を組みながら、やってみたいことを具現化してほしい」とのお言葉を、それぞれからいただきました。

今回認定した十名の新たな林業士の皆さんには、これからそれぞれの地域で、里山の利活用を進めながら、地域づくりに御活躍されることを期待いたします。

がんばれ！ 新たな林業士！

【信州の木活用課】

<p>【林業士】 横内 剛史 岡谷市</p> 	<p>【林業士】 工藤賢太郎 上田市</p> 	<p>【林業士】 保母 敏巳 上田市</p> 	<p>【林業士】 細井 岳 上田市</p> 
<p>【林業士】 高島 和哉 伊那市</p> 	<p>【林業士】 寺澤 幸司 伊那市</p> 	<p>【林業士】 高橋 涼 富士見町</p> 	<p>【林業士】 楨本 竜次 下諏訪町</p> 
<p>【林業士】 川久保 純 長野市</p> 	<p>【林業士】 松崎 甲一 駒ヶ根市</p> 		

スマート林業普及構築事業 報告会が開催されました

令和2年2月25日(火)に東京都千代田区の主婦会館プラザエフにおいて、スマート林業の推進と普及を目的とするスマート林業普及構築事業報告会が開催されました。報告会には、報告地域だけでなく、全国から会場いっぱい約230名の参加があり、スマート林業に対する期待の高さが視えました。

報告会では、主催者である林野庁の森林整備部計画課長からご挨拶があり、基調講演「スマート化と地方創生」のほか、令和元年度に事業を実施した地域(福島・石川・長野・愛知・和歌山・山口・熊本)による報告と意見交換会が行われました。

基調講演を行った、株式会社日本総合研究所の井上氏からは、地方においてこそIoT・Ictの推進は必須であり、今後は自動運転技術



基調講演



会場の様子

により道路や車が最小化され、信号も不要になっていく。林業分野においては、林道の自動走行はまだ技術的に難しく、当面は木材土場管理や集材の分野で効率化が進むため、スマート



意見交換会

フォンの更なる活用が大切であること。また、林業分野におけるスマート化を推進していく上では、情報のオープンデータ化による効率化・高付加価値化や最適化できる工程を地域ごとに検討していくことや、国や地域、業界等の分野の垣根を超えて、最先端のテクノロジーに知見を持つ方達と情報交換をしながら、林業分野に日々技術を取り込んでいくことが重要であるとお話がありました。

当日の報告資料は、「日本森林技術協会」のHPにて公表されています。意見交換会では、技術的な質問だけでなく、それぞれの地域で技術を活用するための課題や費用対効果など、普及につながる多くの質問があり、今後のスマート林業の展開が期待される意見交換会となりました。最後には、ICTは技術をただ導入すればよいというものではなく、組織ごとに人材育成や体制改善とセットで考えなければならぬこと、人と技術の両面からそれぞれの地域におけるスマート林業を模索する必要があるとの意見がありました。スマート林業は、一朝一夕では成りません。しかし、試行錯誤の先には、林業・木材産業を照らす光がありそうです。

日本森林技術協会URL

forestry.jp/others/others.mtg/

【スマート林業タスクフォースAGANO・信州の木活用課】



WOODコレクション（モクコレ） 令和元年が東京ビックサイトで行われました

令和元年12月10日（火）・11日（水）、東京ビックサイト（東京都）で41都道府県が参加し「WOOD コレクション（モクコレ）令和元年」が開催されました。WOODコレクションは、全国各地の木材製品が集まる日本唯一の木の祭典です。

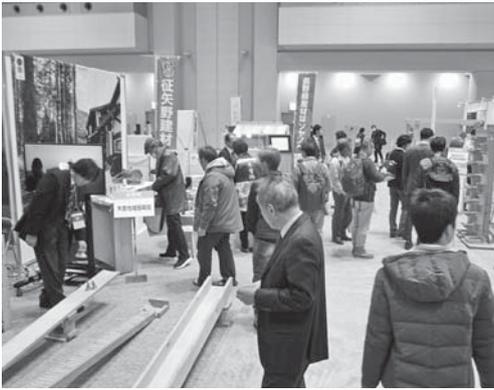
5回目の開催となる今回のテーマは「JAPAN WOOD・JAPAN PRIDE（日本の木材 日本の誇り）」。高い技術を駆使した魅力的な木材製品が多数出品されました。

長野県からは、信州木材認証製品センター・長野県木材協同組合連合会・長野県産材販路開拓協議会を主体に、県内の木材関係事業者8社、県内森林認証協議会4団体、木曽地域振興局、長野県森林経営管理支援センターが約200種類の県産材製品を出品しました。

2日間で4,200人を超える来場者があり、長野県ブースにも多くの木材商社、建築関係者、行政関係者等が訪れ、県産材の魅力伝える



開会式の様子



長野県ブースの様子



天龍村によるプレゼン



接着重ね梁の展示

ことができました。特に、接着重ね梁は多くの来場者が足を止めて、活発な商談活動が行われていました。また、安曇野市の企業が出品した松くい虫被害材で製作した積み木が人気を集め、森林環境譲与税を活用した木育の取組につながる可能性もあることから、首都圏の行政関係者が興味を示していました。

会場内のセミナーコーナーでは、根羽村・天龍村・川上村による東京2020大会選手村ビレッジプラザへの県産材提供の取組みを紹介するとともに、森林環境譲与税を活用し県産材を利用させていただくようPRを行いました。

木曽地域振興局は、木曽漆器等の工芸品を展示。来場者への木曾ヒノキの割り箸プレゼントは大変好評でした。

今回のWOODコレクションは、台風19号災害後であったことから、多くの方の支援への御理解や御協力を得ようと、義援金や災害ボランティアの情報を発信しました。

WOODコレクションは、全国の木材製品や技術を知り、情報交換が行える場であり、市場ニーズの把握や今後の製品開発につながるものと考えます。センスがある、PR効果の高いブース展示手法を知ること、今後の出展に役立つことでしょう。

【県産材利用推進室】



令和元年度 中部森林技術交流発表会を開催

【中部森林管理局】

一月三十日から三十一日にかけて、中部森林管理局大会議室において「令和元年度中部森林技術交流発表会」を開催しました。

この発表会は、国有林や民有林の行政・教育・研究機関等の森林・林業に関する知識・技術を共有し、成果の普及と森林・林業の発展に資することを目的としています。

今年度は、国有林関係から十四課題、民有林・学校関係等から十一課題の計二十五課題の発表があり、二日間で発表者・聴講者等を含め延べ約四百名の参加をいただきました。

参加者は、「森林技術」、「森林保全」、「森林ふれあい」の各部門において、土石流災害やニホンジカ・クマ被害への対策、UAV等の先端技術を用いた技術開発及び放置竹林を地域資源として活用する取組等、多岐にわたる発表を行いました。



発表会場の様子(下高井農林高等学校)

発表終了後は、国有林関係については、信州大学農学部加藤正人教授から、民有林・学生関係については、名古屋大学大学院生命農学研究科田中隆文准教授から講評をいただきました。また、特別発表として、長野県林業総



受賞者と審査関係者で記念撮影

○民有林部門

※森林・林業振興賞

☆富山県における優良無花粉スギ「立山森の輝き」の省力的な育苗技術
富山県森林研究所 齋藤真己

☆グルタチオン施肥が秋出荷に向けたヒノキコンナ苗生産へ及ぼす影響
岐阜県森林研究所 茂木靖和・渡邊仁志

☆下刈りを完全省略した造林地におけるヒノキの成長
岐阜県森林研究所 渡邊仁志・茂木靖和

☆新たな森林管理制度の長野県の取組について

合センター戸田堅一郎氏より「台風十九号災害の被害調査におけるICT技術の活用」の発表がありました。

民有林部門及び学生部門の受賞課題と受賞者は、次のとおりです。(発表順で掲載)

○学生部門

※奨励賞

☆地域へ届け！私たちの思い
下高井農林高校グリーンデザイン科の取組
下高井農林高等学校 上埜達郎・河野悟大・伊東涼斗

☆ドローンを用いた定性と列状間伐木の画像抽出
信州大学農学部 浦野陽平 岩塚伸人

☆林大版チェンソー安全作業マニュアル
伐倒作業編
長野県林業大学校 高橋幸司・溝口翔太・三室晃人

☆スギ人工林を構成する個体の成長解析及び林分の現況に関する研究
長野県立木曽青峰高等学校 佐々木隼・梅本倫仁

☆飛騨の赤松が育てる「森・人・伝統建築」
岐阜県立飛騨高山高等学校 加藤英聖・赤羽根迅

(資)戸田材木店・セルバ
長野県林業大学校 一柳きくの・岩田紬

詳細につきましては、QRコードを読み込んでください。





緑の募金で進めよう SDG s

【緑の募金】のしくみ

家庭募金・街頭募金・職場募金・企業募金・団体募金・募金箱



高校生による
募金活動



令和元年 長野県募金総額 **75,728,739 円**

ご協力ありがとうございました。

ご協力をいただきました「緑の募金」は、里山の手入れ、みどりの少年団の育成などに活用させていただきました。



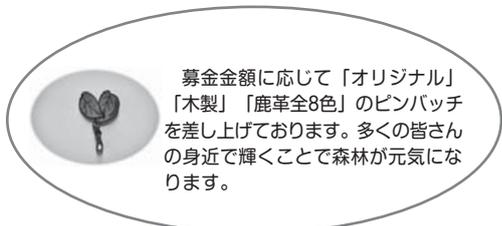
公募事業



植樹祭



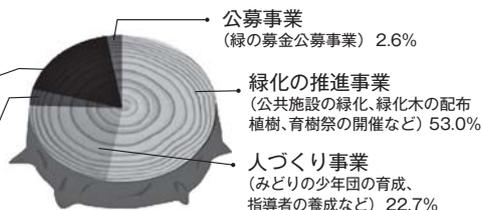
みどりの少年団交流集会



緑の募金の使途

募金活動経費
(募金運動啓発、募金
資材など) 18.0%

(公社)国土緑化推進
機構の中央事業
(海外植林、公募事業など) 3.7%



公益財団法人 長野県緑の基金
長野市大字南長野字幅下 692-2 長野県庁内
Tel.026-232-0111 (内線4819)
Eメール green@midori-joho.gr.jp

美しい信州の緑や森林づくりのため、「緑の募金」に協力をお願いいたします。

春の山火事予防にご協力ください!!

春は特に空気が乾燥し、強い風が吹くことから
山火事が起こりやすい時期です。

長野県では、1年間に発生する山火事の半数以上が春先の3月から5月に発生しています。山火事は消火が難しく、広範囲に被害が及ぶ危険性が高い火災です。原因の多くは「火の取扱いの不注意」です。一番の予防策は一人ひとりの『山火事を発生させない!』という心がけです。

本年は、暖冬、雪不足の影響から、火災が発生しやすい条件となっています。「守りたい 森と未来を 炎から」。**大切な森林を守るため、屋外での火の取扱いに十分ご注意ください。** 【森林づくり推進課】



平成 31 年 4 月に発生した林野火災



山火事予防のパトロール



令和2年度 長野県森連通常総会開催

令和2年2月27日、長野県林業センタービル(長野市)で、長野県森林組合連合会の第83回通常総会が開催されました。今回は、新型コロナウイルスの感染予防のため、出席者全員のマスクの着用と除菌を徹底したうえでの開催となりました。

当日は、森林組合綱領の唱和及び林副会長の開会に引き続き、藤原会長による開会挨拶が行われ、東日本台風により被災した北信木材センター復旧に対するご協力への感謝が述べられました。その後、知事代理として、長野県林務部信



藤原会長の挨拶

州の木活用課長城風人氏、中部森林管理局長吉村洋氏、農林中央金庫関東業務部長竹渕晶代氏から祝辞をいただきました。

議事は、諏訪森林組合藤森組合長を議長に、第1号議案・令和元年度事業報告等から、第9号議案・定款の一部変更について審議の上、原案どおり承認・決定されました。

引き続き、系統利用優良森林組合への感謝状の贈呈及び永年勤続職員表彰(専任職員29名、技能職員37名)が行われ、受賞者を代表して北信州森林組合利用事業室長滝沢良一氏から謝辞をいただいて全日程を終了しました。



表彰式の様子

令和元年度事業報告

会員のコンプライアンスとガバナンスの強化を図るため、研修会等を開催したほか、監査や森林組合経営改善支援事業を通じて、会員への助言、指導を行いました。森林経営管理制度については、県下森林組合及び市町村の実情を把握するとともに、国や県、全森連からの情報把握に努めました。

木材販売については、系統のスケールメリットを生かした受託・買取販売、山土場からの直送に加えて、好調な木材需要と木材価格の安定に支えられて、取扱数量280千 m^3 、取扱高2,995百万円となりました。東日本台風による影響の長期化が懸念されましたが、関係する皆様のご協力により、通常の木材流通が回復しつつあります。

体制強化した開発室では、ICTを活用した森林管理や木材の在庫管理システムの開発、ドローンを活用した森林調査の実践と普及に取り組みしました。

令和2年度事業計画

本年は、JForest森林・

林業・山村未来創造運動の最終年度となります。引き続き、森林資源の有効活用を通じた会員と山への還元を第一に、行政機関、諸団体と連携して、森林林業の発展に取り組みます。

森林経営管理制度に関しては、会員の円滑な参画に資するよう、行政との情報共有を密にし、研修会等の場を通じて情報提供を行います。

本年長野県内では、新たに製材工場及び複数のバイオマス発電施設の稼働が予定されており、木材需要の高まりが見込まれます。引き続き、関係する皆様と連携して木材の多様な販売方法を開拓し、安定供給と需給のマッチングを進めます。

また、将来を展望し、ICTの活用に係る研究事業に参画するほか、木材在庫管理システムの導入、新規事業の開拓に取り組みます。

系統利用優良森林組合

- <木材販売事業>
- 長野県森林組合
- 松本市域森林組合
- 上伊那森林組合
- 北信州森林組合
- 栄村森林組合
- <購買事業>
- 信州上小森組合
- 松本広域森林組合
- 長野伊久森組合
- 飯佐森林組合



木を植えて 守り育てる 緑の大地

令和2年度
国土緑化運動標語

一般社団法人

長野県林業センター

理事長 藤原 忠彦 副理事長 水本 豪
副理事長 宮崎 正毅 常務理事 宮 宣敏

長野県森林組合連合会

代表理事会長 藤原 忠彦
副会長 林 和弘 代表理事専務 高田 幸生

長野県林業団体協議会

会長 高田 幸生 副会長 藤原 忠彦
副会長 宮崎 正毅 副会長 水本 豪

長野県木材協同組合連合会

理事長 宮崎 正毅 副理事長 宮野尾 宏
副理事長 佐原 良彦 副理事長 麦島 照幸
副理事長 都築 透 専務理事 小島 和夫
副理事長 小林 基英 事務局長 松本 寿弘

林業・木材製造業 労働災害防止協会 長野県支部

支部長 宮崎 正毅 専務理事 小島 和夫
副支部長 高田 幸生 事務局長 阿部 勝彦

信州木材認証製品センター

理事長 宮崎 正毅
副理事長 齋藤 廣 専務理事 小島 和夫
副理事長 高田 幸生 事務局長 松本 寿弘

一般財団法人

長野県林業労働財団 長野県林業労働力確保支援センター

理事長 山口 勝也

「森林・林業の総合アドバイザー」

一般社団法人

長野県林業コンサルタント協会

理事長 羽田 健一郎

長野県治山林道協会

会長 羽田 健一郎 役員一同

長野県森林組合長会

会長 林 和弘

長野県山林種苗 協同組合

理事長 富澤 修一

国立研究開発法人森林研究・整備機構

森林整備センター

長野水源林整備事務所

所長 春原 武志

長野県水源林造林協議会

会長 白鳥 孝

長野県造林協会

会長 藤原 忠彦

長野県林業 薬剤防除協会

会長 牧 司

損害保険代理店・環境事業計画施工・墓石

株式会社 モリレン長野

代表取締役社長 田中 高德
専務取締役 室賀 秀樹

宮澤木材産業(株)

代表取締役 宮澤 遙



私達も緑化推進運動に協力しています。



育てよう あふれる緑 未来まで

令和2年度
育樹運動標語

佐久森林林業振興会

役職員一同

上小林業振興会

会長 羽田 健一郎 役職員一同

もり 諏訪地域森林づくり ・林業振興会

役職員一同

上伊那山林協会

役職員一同

下伊那山林協会

役職員一同

木曾山林協会

会長 貴舟 豊 役職員一同

松本地域森林林業振興会

役職員一同

長野地方緑化推進委員会

会長 染野 隆嗣 役職員一同

長野国有林森林整備協会

会長 花見 隆夫
副会長 林 和弘
専務理事 酒井 省三

長野市大字稲葉字母袋沖 612-2 ☎026-285-9070

日本林業土木株式会社

長野出張所 所長 竹内 正比古

長野市中御所岡田町 30-16 ☎026-227-6185

みどり産業株式会社

代表取締役社長 洞 和雄

本社 長野市大字稲葉2413-3 ☎026-224-8708

有限会社 中島林業

代表取締役 中島 武東

佐久市大字取出町 203-7

伐採木から解体木材まで適正処理はお任せください!

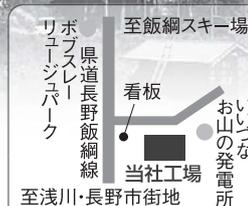
地産池消のエネルギー

間伐材・道路支障木解体木材

原料木(根株・枝条・廃木材等)

用途に応じたサイズに破砕(0~50mm)

- バイオマス発電用燃料
- 吹付用基盤材(長野県特肥309号)



一般廃棄物処分業許可:長野市50006号

電子マニフェスト対応 ISO 14001:2015

宮澤木材産業株式会社

環境事業部 木材リサイクルセンター

TEL.239-3260

長野市中曾根3646-1 FAX.239-3252

受付時間/8:00~17:00 定休日/日・祝祭日
本社/長野市中曾根2188-5 TEL.239-0588



A PERMITTED
WOOD WASTE
RECYCLING
CENTER

廃木材を100%
電力にリサイクル!!

URL <http://www.mwwi.co.jp> E-mail kankyout2@mwwi.co.jp



木を植えて 守り育てる 緑の大地

令和2年度
国土緑化運動標語

南安曇木材協同組合

組合理事長 佐原 良彦
安曇野市豊科南穂高 3390

瑞穂木材株式会社

代表取締役 宮崎 正毅
下高井郡木島平穂高 3228-1

株式会社飯田総合木材センター

代表取締役 松下 勝彦
飯田市鼎切石 4367

信濃化学工業株式会社

代表取締役社長 小野 大輔
長野市桐原 1-2-12

齋藤木材工業株式会社

代表取締役社長 齋藤 健
小県郡長和町古町 4294

株式会社 柳 沢 林 業

代表取締役 原 薫
松本市岡田下岡田 774-1



一般社団法人

日本森林技術協会

長野事務所 所長 油井 章次郎
長野市中御所岡田町 30-16 ☎ 026-217-2660

(株)中部森林技術コンサルタンツ 長野支店



支店長 長谷川 洋
長野市大字稲葉中千田沖 2040-2 ☎ 026-224-8710

株式会社 吉 本

代表取締役 由井 正隆
南佐久郡佐久穂町大字平林 121

有限会社 大井 木 材

おかげさまで創業 60 周年
代表取締役 大井 翔太
木曾郡上松町緑町 2-10-2

王滝林業有限公司

取締役社長 西路 明
木曾郡王滝村 4563-2

南佐久北部森林組合

代表理事
組合長 佐々木 勝

4月の市売りのご案内

本部事務所(製品)	荻原事務所(原木)	坂下事務所(原木)	国有林土場等活用委託販売市売り
花まつり 第46回全木協連優良 国産材製材品展示会 4月18日(土)	春季謝恩市 4月21日(火)	4月 2日(木) 春季謝恩市 4月22日(水)	4月 14日(火) 入札物件紹介・入札結果はホームページに掲載 ※本市売は、これまでの木曾地区国有林の公売に代わるものです。

※入札参加資格・入札条件等詳細については下記へお問い合わせください。



木曾官材市売協同組合

ホームページアドレス <http://www.kisokan.com>

荻原事務所：長野県木曾郡上松町荻原字中島 1431-1 ☎ 0264-52-2483(代) FAX0264-52-4885
やぶ原土場：長野県木曾郡木祖村数原 844-1 ☎ 0264-24-0085(代) FAX0264-24-0086
坂下事務所：岐阜県中津川市坂下 133-1 ☎ 0573-75-3178(代) FAX0573-75-3172

理事長 野村 弘

本部事務所：長野県木曾郡上松町正島町 2-45
☎ 0264-52-2480 FAX0264-52-2324



育てよう あふれる緑 未来まで

令和2年度
育樹運動標語

南佐久中部森林組合

代表理事
組合長 黒澤 和夫

レストラン 四季の味 樹木里

南佐久南部森林組合

代表理事
組合長 藤原 忠彦

緑を育て山を守る

佐久森林組合

代表理事
組合長 山岸 喜昭 役職員一同

緑の担い手

信州上小森林組合

代表理事
組合長 倉沢 明人 役職員一同

諏訪森林組合

代表理事
組合長 藤森 良隆 役職員一同

 もりもり上伊那

上伊那森林組合

代表理事
組合長 白鳥 孝 役職員一同



飯伊森林組合

代表理事
組合長 林 和弘 代表理事
常務 吉澤 悦史
役職員一同

信州根羽すぎ・根羽ひのき

根羽村森林組合

代表理事
組合長 大久保 憲一 役職員一同
下伊那郡根羽村 407-10

木曽南部森林組合

代表理事
組合長 坂家 重吉 役職員一同

木曽森林組合

代表理事
組合長 神村 光雄

松本広域森林組合

代表理事
組合長 吉田 満男 役職員一同

南木曽町森林組合

代表理事
組合長 藤原 和年 役職員一同

大北森林組合

代表理事
西澤 清
大町市大字平 10788-1

長野森林組合

代表理事
組合長 酒井 美明 役職員一同

北信州森林組合

代表理事
組合長 中山 稿一 役職員一同

栄村森林組合

代表理事
組合長 桑原 重雄 役職員一同

長野県の木材市況

令和二年三月十日発行 長野の林業通巻三六二号

発行 長野の林業編集委員会
長野市岡田町長野県林業センター内
電話〇二六(二三七)五〇二五
Eメール Nagarin-center1@qa3.so-net.ne.jp

事務局長野の林業普及協会
電話〇二六(二三六)五六二〇
Eメール rinfukyo@giga.ocn.ne.jp

第1035回 市況表

(令和2年2月19日実施)

長野県森林組合連合会 伊那木材センター



Tel 0265-72-2684 Fax 0265-76-8759

樹種	長さ(m)	規格	末口(cm)	高値(円/㎡)	中値(円/㎡)	備考
ひのき	3.0	直	14~16	14,000	13,000	引き合いあり。
		直	18~22	15,000	14,500	
		直	24~30	14,000	10,000	
のき	4.0	直	14~16	14,000	9,000	直造材でお願いします。
		直	18~22	18,000	12,500	
		直	24~28	14,000	10,000	
すぎ	3.0	直	16	10,000	8,000	3m、4m (φ18cm~φ38cm) 直材限り需要あり。
		直	18~22	7,500	5,000	
	4.0	直	18~22	12,000	8,000	
もみ	4.0	直	18上	12,000	7,000	安定的な需要あり。
さくら	4.0	直	40	67,000		良材高値。
なら	4.0	込	30上	15,000	10,000	安定的な需要あり。
		込	14~18	12,000	9,000	
くり	4.0	直	54	61,200		良材高値。
		直	18~24	25,000	15,000	
あかまつ	4.0	直	18上	10,000	8,000	良材、需要期終了。
からまつ	4.0	直	36上	20,000	12,000	
からまつ	4.0	込	20上	15,000	12,000	需要あり。出品願います。

出品量 1,821㎡ 販売量 1,819㎡ 落札率 100% 買い方 30社

出品にご協力いただきありがとうございました。今回の市売りでは、広葉樹中心に応札数が多く活発な市売りになりました。冬期ではありますが、暖かい日が続いております。あかまつ材を出品される方は、カビなど等により欠点材になる前に、早めの出材をお勧めします。尚、出材には合法認定業者の登録をお願いするとともに出材時にはその都度、合法認定番号及び伐採地と伐採箇所を詳しく記載した納品書及び伐採届の提出をお願いします。
*安全のため荷下ろし、積込みの際には車止め、またヘルメットの着用をよろしくをお願いします。

第1037回 市況表

(令和2年2月18日実施)

長野県森林組合連合会 中信木材センター



Tel 0263-77-2347 Fax 0263-77-2349

樹種	長さ(m)	規格	末口(cm)	高値(円/㎡)	中値(円/㎡)	備考
すぎ	3.0	直	16~18	11,000	9,000	3.0m×16~22cm柱取り引合いあります。20cm上は4.0m造材してください。
		直	20~28	13,000	10,000	
ひのき	3.0	直	20上	18,000	13,000	価格横ばい。
		直	18~28	18,000	14,000	
からまつ	4.0	込	6~13	12,000	8,000	材不足しています。細物5cm~13cm引合い強し。ご購入をお願いいたします。
		直	14~18	14,000	12,000	
		曲	14~18	13,500	12,000	
あかまつ	4.0	込	26~56	10,000	6,000	大径材に高値。
		込	60~78	186,000	146,000	
いらい	3.0~4.0	一本	18~24	31,000	5,000	応札活発。
		一本	14~34	15,000	13,000	
からまつ	3.0~5.0	込	24~58	61,000	12,000	
からまつ	4.0	曲	20~40	20,000	13,000	
からまつ	4.0	込	26~56	10,000	6,000	
からまつ	4.0	込	60~78	186,000	146,000	
からまつ	5.0~8.0	込	24~58	61,000	12,000	
からまつ	3.0~4.0	一本	18~24	31,000	5,000	
からまつ	3.0~4.0	一本	14~34	15,000	13,000	
からまつ	3.0~5.0	込	20~38	54,000	13,000	
からまつ	4.0	込	18~40	24,000	15,000	
からまつ	2.0~4.0	込	26~50	28,000	12,000	

出品量 5,163㎡ 販売量 4,503㎡ 落札率 87% 買い方 46社

今回は、アカマツ大径材の出品と広葉樹中心の応札活発な市売りとなりました。3月25日の市売りでは、広葉樹祭りを開催予定ですので今後とも皆様のご協力をお願いいたします。尚、当連合会は合法木材に取り組んでおります。合法木材供給事業者の認定を取得し、出荷時には合法的に伐採された木材であることのコメントと合法木材認定番号が記載された納品書の提出をお願いします。

第1069回 市況表

(令和2年2月19日実施)

長野県森林組合連合会 北信木材センター



Tel 026-295-5546 Fax 026-295-5547

樹種	長さ(m)	規格	末口(cm)	高値(円/㎡)	中値(円/㎡)	備考
すぎ	3.0	直	16~18	13,000	9,000	柱材需要あり。直造材でお願いします。
		直	20上	13,500	11,000	直造材でお願いします。
		込	8~13	5,500	4,500	需要あり。出品願います。
のき	4.0	直	14~20	12,500	10,000	出品願います。
		直	22~28	14,000	12,000	
		直	30上	18,000	11,500	直造材で出品願います。
からまつ	4.0	曲	14~18	8,000	5,500	
		曲	20上	11,000	8,000	
		込	6~13	11,000	6,000	需要あり。直造材を心がけて下さい。
からまつ	4.0	直	14~18	12,500	9,000	出品願います。
		直	20上	20,000	14,000	需要あり。積極的に出品願います。
		曲	14~18	6,000	5,000	
くり	3.0	直	32	18,000		
		直	50	15,000		
		直	32~34	12,000		
ほお	4.2	直	24	15,000		
ほお	4.2	直	46	57,000		

出品量 4,687㎡ 販売量 4,557㎡ 落札率 97% 買い方 40社

今回は、春を感じさせる天気の中、多くのお客様にご来場いただき、大変賑やかな市売りとなりました。市況としましては、カラマツについては依然として高値で安定しております。スギについては、前回同様横ばい傾向となっております。どちらも需要は旺盛ですので、丁寧な造材を心がけていただき、積極的にご出品願います。また、広葉樹については、大径材や欠点の少ない材に高値が多く見られました。良材の高値傾向は続きそうですが、3月を過ぎると急激に値段が下がる傾向がありますので、伐採予定がある方は早めのご出品をお願いします。
【お願い】合法認定事業者の登録をお願いするとともに、出荷時にはその都度必ず「合法認定番号及び「合法木材である」コメントを記載した内容の」納品書の提出をお願いします。

第520回 木材共販市況表

(令和2年2月18日実施)



出品量 1,750㎡ 買い方 18社 落札率 92.0% 飯伊森林組合木材共販所

樹種	長さ(m)	規格	末口(cm)	高値(円)	平均値(円)	平均石値(円)	備考
ひのき	3.0	直	14	9,000	8,000	2,240	
		元直	16	12,500	9,000	2,520	
		込	18~24	17,500	16,500	4,620	
		込	26~28	16,500	15,000	4,200	
		込	30上	16,000	15,000	4,200	
	4.0	中込	16~22	15,000	13,000	3,640	
		込	24~28	15,000	13,000	3,640	
		込	30上	16,000	14,000	3,920	
		元直	16~22	18,500	17,000	4,760	
		元	24~28	24,000	19,000	5,320	
すぎ	3.0	直	30上	35,000	28,500	7,980	
		中直	12~14	13,500	8,000	2,240	
		込	16~22	18,500	15,000	4,200	
からまつ	4.0	込	24~28	16,000	14,000	3,920	
		12下	360	300		一本売り	
		直	18~22	10,500	8,000	2,240	
すぎ	4.0	直	24~32	11,500	8,500	2,380	
		込	16~18	9,500	8,000	2,240	
		込	20~22	11,500	9,500	2,660	
からまつ	3.0	直	24~28	13,500	11,000	3,080	
		直	30上	16,000	13,500	3,780	
		込	14~22	7,500	5,500	1,540	
からまつ	4.0	込	12~14	6,500	5,000	1,400	
		込	16	8,500	6,000	1,680	
		込	18~28	13,500	12,000	3,360	
からまつ	4.0	直	30上	15,000	12,000	3,360	
		小曲り	14~30	5,000	4,000	1,120	
		直	12下	320	270		一本売り
あかまつ	4.0	直	24~40	13,500	9,500	2,660	
くり	4.0	直	18~38	32,000	15,500	4,340	

総評

ひのき価格横ばい。中目安値動かず。すぎ、出荷量増え価格は横ばい。からまつ引き合いあり、価格はやや上昇 あかまつ出荷あるも量少なく価格伸びず。引き続き出荷の協力をよろしくお願いいたします。